



PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年3月2日

GEヘルスケア、第一三共から造影剤4製品の製造販売承認の承継を完了

日本・東京、米国・シカゴ（2020年3月2日） – GEヘルスケアファーマ株式会社は、本日、第一三共株式会社（本社：東京中央区、以下「第一三共」）が日本で製造販売していた以下の造影剤4製品の製造販売承認を承継しましたのでお知らせいたします。

今後は、GEヘルスケアファーマ株式会社が製造販売元として情報提供活動を行います。

製品名	用途区分
オムニパーク®	非イオン性 X線用造影剤
オムニスキャン®	線状型非イオン性 MRI 用造影剤
ビジパーク®	非イオン性等浸透圧 X線用造影剤
ソナゾイド®	超音波用造影剤

造影剤は、コンピューター断層撮影（CT）、X線、磁気共鳴断層撮影（MRI）や超音波などの画像診断検査時に、疾病の診断やモニタリングに使用する画像の質向上のため、患者さんに投与される医薬品です。過去30年以上に渡りGEヘルスケアと提携してきた第一三共は、今般の合意に基づいて、対象製品の卸への流通を2022年3月まで継続し、医療機関への安定供給を引き続き確保します。

グローバルにビジネスを展開するGEヘルスケアの造影剤は130か国以上で提供されており、今では、世界中で1秒に3人の患者さんがGEヘルスケアの製品を使用した画像診断を受けています。本承継により、GEヘルスケアは日本での製造販売を開始すると共に、良い選択肢と精密な診断のツールを提供できるよう取り組んでまいります。

GEヘルスケア ファーマシューティカル・ダイアグノスティクス事業部門の社長兼CEOであるケヴィン オニールは、次のように述べています。「造影剤を使った画像診断はもとより、造影剤の開発・販売を日本で進めていく中で、お客様とのパートナーシップを今後とも強化し、より多くの患者様をサポートすることができればと思っております。第一三共が日本市場において築いてきた品質への信頼をしっかりと受け継ぎ、引き続きお客様の期待に応えていくことができるよう取り組んでまいります。この度の承継を通じて、自社が持つ強みによりフォーカスした戦略を実践してまいります。」

GEヘルスケアファーマ株式会社が属するGEヘルスケア ファーマシューティカル・ダイアグノスティクス事業部門は、医療テクノロジー・診断のイノベーターであり世界に50,000人の従業員を擁するGEヘルスケアの一部門です。GEヘルスケアファーマ株式会社は、日本国内のファーマシューティカル・ダイアグノスティクス事業部門を担う組織体として、新たに設立された診断薬事業を運営します。

GE ヘルスケアについて

GE (NYSE: GE) における 199 億ドルの事業である GE ヘルスケアは、医療画像からモニタリング、バイオ製品製造、また細胞・再生治療に至るまで幅広い技術を提供するヘルスケアプロバイダーです。インテリジェント機器やデータ分析、ソフトウェア、サービスを通じて、予防から診断、治療、経過観察・予後管理までをカバーする「プレジジョン・ヘルス」の実現を目指しています。100 年以上にわたる医療業界における経験と世界に 5 万人以上の社員を擁する GE ヘルスケアは、世界中の患者や医療従事者、研究者およびライフサイエンス関連企業に対し、より良いアウトカムを効率的にお届けしています。最新のニュースについては [Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#) および [The Pulse](#) で当社をフォローしてください。詳細な情報については当社のウェブサイト www.gehealthcare.com をご覧ください。